

# 県学力・学習状況調査を活用した実践事例



## 実践事例 1 「昨年度の担任ベースに並べ替えて、伸ばしているクラスの取組を共有する」

### 【A小学校の例】

| 昨年度のクラス | 学力の伸び |     | 伸ばした児童の割合 |     | A L | 柔軟  | プランニング | 作業  | 人的リソース | 認知  | 努力調整 | 自制心 |
|---------|-------|-----|-----------|-----|-----|-----|--------|-----|--------|-----|------|-----|
|         | 国語    | 算数  | 国語        | 算数  |     |     |        |     |        |     |      |     |
| 旧5-1    | 4.2   | 1.1 | 92%       | 60% | 3.9 | 3.4 | 4.5    | 3.0 | 4.8    | 3.8 | 4.8  | 3.8 |
| 旧5-2    | 2.6   | 4.5 | 72%       | 95% | 4.7 | 3.6 | 2.0    | 3.5 | 3.0    | 4.9 | 3.9  | 3.7 |

   は、注目すべき項目の数値



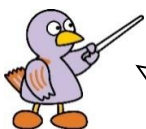
### 【効果的な指導】

<旧5-1から>

- 国語の学力の伸びが高かったのは、書く活動をたくさん取り入れ、文章を書くことの苦手をなくしたからではないか。
- 努力調整方略の数値が高いのは、粘り強く最後までやり抜くことができるように声かけやヒントカード等の支援を行ったからではないか。
- 人的リソース方略の数値が高いのは、自力解決の時間をきちんと確保し、一人一人がじっくりと考える場面を設定をしたからではないか。

<旧5-2から>

- 算数の学力の伸びが高かったのは、児童の発表に対して、他の児童に「どうしてこうなったのか」と問い返したからではないか。
- 認知的方略の数値が高いのは、既習事項を振り返り確認してから、問題を解くような指導を心掛けたからではないか。
- A Lの数値が高いのは、グループで話し合う時には、話し合う視点をきちんと与えてから話し合わせるようにしたからではないか。



大切なことは、学力を伸ばしている教職員の指導方法をみんなで共有して、授業改善に生かすことだよ。また、伸ばしている先生の授業を実際に観ることも効果的ですよ。

実践事例2「コバトンのびのびシートを活用して、学力に課題のある児童生徒について学力や学習の状況を把握し、効果的な指導方法を話し合い、共有する。」

【B小学校の例】

**コバトンのびのびシート**

| 年度  | 正答率  | レベル | 伸び       | 話す・聞く・書く |      | 読心   | 算数の基礎的な知識・技能の活用 |
|-----|------|-----|----------|----------|------|------|-----------------|
|     |      |     |          | 話す・聞く    | 書く   |      |                 |
| H30 | 63.3 | 6-B | 3<br>(1) | 25.0     | 88.9 | 58.8 |                 |
| H31 | 40.3 | 5-C | 0<br>(2) | 36.4     | 42.9 | 28.6 | 71.7            |

| 項目   | 内容       |                                   | H30 | 変化   |
|------|----------|-----------------------------------|-----|------|
|      | AL       | 「主体的・対話的で深い学び」ができていたか             |     |      |
| 学習方法 | 柔軟的方略    | 学習の進め方を自分の状況に合わせて柔軟に変えていく活動       | 3.1 | 0.3  |
|      | プランニング方略 | 計画的に学習に取り組む活動                     | 3.0 | 0.2  |
|      | 作業方略     | ノートに書いたり、声に出したりといった作業を中心に学習を進める活動 | 2.8 | 0.3  |
|      | 人的リソース方略 | すぐにやり方や答えを聞かずに学習を進める活動            | 1.6 | -0.3 |
|      | 認知的方略    | より自分の理解度を深めるような学習活動               | 2.6 | 0.1  |
|      | 努力調整方略   | 「苦手」等の感情をコントロールして学習への意欲を高める活動     | 1.8 | -0.2 |
| 学習態度 | 自制心      | 自分の意思で感情や欲望をコントロールすることができる力       | 3.3 | 0.2  |

**学習方略と非認知能力の変化**

**学力レベルの変化**

| 実力テスト(国語) |    |    |    |    |     |      |      |    |      | 実力テスト(算数) |      |      |    |      |      |    |    |    |    |    |    |    |    |
|-----------|----|----|----|----|-----|------|------|----|------|-----------|------|------|----|------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 話す        | 聞く | 書く | 読心 | 漢字 | その他 | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 位置関係 | 文章問題      | 数と計算 | 量と測定 | 図形 | 位置関係 | 文章問題 |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 78        | 87 | 40 | 87 | 89 | 90  | 67   | 55   | 50 | 45   | 70        | 40   | 88   | 68 | 56   | 80   | 88 | 97 | 70 | 66 | 66 | 50 | 80 | 45 |

**伸ばしたいところ**

国語  読む  話す  聞く  書く  漢字  言葉のきまり

算数  分数の計算  小数や分数の四則計算の定着と活用  図形  面積  体積  速さ  メートル法の単位の変換

学習に取り組む態度  積極的に発表する  グループなどの話し合い活動時に積極的に発言する  全体の前で発表する  最後まで粘り強く取り組む  宿題を忘れずにやる  様々な考え方を表現しようとする  はいと返事をする  人の話をしっかりと聞く  ノートをきちんととる  提出物の期限を守る  学習で役立つものを忘れずに用意する  友達と協力して学習に取り組む  一人で集中して学習に取り組む  学習用具の整理整頓をする  時間を守る  その他(物事をあらかじめ)

のびのびシートから先生の眩き

〇〇さん、図形の分野が弱いよね……。どうしたらいいかしら？

研修会や普段の職員室で

今までに習った図形の復習をスモールステップで徹底的に！

〇〇さんの図形の分野を伸ばすにはどのような指導をしたらいいですか。

私も、授業でそうしてみよう

図形の角の大きさに色を塗って見せるとはっきりと分かると思うよ。

図形の分野のときには、具体物を準備するといいわよ！

- 【他にも・・・コバトンのびのびシートから見えてくること】**
- ①国語の「話す・聞く・書く」の領域が弱い。
  - ②「努力調整方略」が低く、昨年度より数値が下がっている。
  - ③「人的リソース方略」が、昨年度より数値が下がっている。
  - ④「将来の夢や目標」をどちらかと言えば持っていない。
  - ⑤家庭学習の時間が30分～1時間以内である。
  - ⑥家の人とあまり話をしていない。

- 【具体的な支援】**
- ・授業中での支援
  - ・授業外での支援
  - ・学校行事等での支援
  - ・部活動での支援
  - ・家庭と連携しての支援
- など

大切なことは、教職員で、「コバトンのびのびシート」をもとに、よりよい指導方法について話し合いをし、それをみんなで共有することだよ。